

事業番号	05 10 09	事業改善シート(27年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	毒物劇物安全対策費			担当課	部局	健康福祉部	
総合5か年計画	プロジェクト			課・室	薬事管理課		
	施策の総合的展開	4-2 県民生活の安全確保		E-mail	yakuij@pref.nagano.lg.jp		
		4 食品・医薬品等の安全確保		実施期間	S25 ~		

1 事業の概要

目指す姿	毒物劇物の違反、事件及び事故を減少させる。 毒物劇物の適正な取扱い、保管がなされ、毒物劇物による事件・事故がない長野県を目指す。	
現状(予算編成時)	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度における毒物劇物の違反施設数は、毒物劇物営業者が39件、業務上取扱者が118件あり、適正な取扱い、保管がなされていない。なお、事件・事故の発生はなかった。 近年、空気呼吸器や応急措置用の事故処理剤を使用する事故は発生していないが、毒物劇物の事故の発生時における保健衛生上の危害防止のため、緊急時に対応できる体制を常に整えておく必要がある。 	
県が関与する理由	県でなければ実施不可(法令等義務)	【左記の説明、根拠法令等】 毒物及び劇物取締法
	県民との協働による実施：実施は困難	

成果目標・事業内容	① 成果目標(H27)				
	年2回の危害防止運動(農業危害防止運動、毒物劇物及び農業危害防止運動)を農政部と協力して実施する。 毒物劇物事故対策研修会を年1回開催する。 事故発生時に備え、緊急時に必要とされる事故処理剤を確実に備蓄する。				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H27事業実績	H27 (当初)	H27 (決算)
1.監視指導	直接	<ul style="list-style-type: none"> 毒物及び劇物取締法に基づき毒物劇物営業者等の登録・許可等の電算処理を実施。 毒物劇物営業者等における毒物劇物の取扱い等の適正化のため、立入検査を実施。 毒物劇物に関する適正な取扱いや保管管理の徹底を図るため、危害防止運動を実施。(2回) 毒物劇物に関する安全意識の高揚を図り、保健衛生上の危害防止のため、毒物劇物事故対策研修会を実施。(1会場、1回) 	707	605	883
2.空気呼吸器保守点検	直接	毒物劇物による事故等の有事に備えるため、保健所に主に配備した空気呼吸器の保守点検、空気の充填を実施。(11ヶ所、17本) また、法令の規定による耐圧試験も実施。(5ヶ所、6本)	272	182	272
3.毒物劇物事故処理剤備蓄補助事業	補助金	毒物劇物の事故発生に伴う危害防止ため、毒物劇物事故処理剤備蓄に対する補助を実施。(5ヶ所、6品目) (補助先:長野県医薬品卸協同組合)	500	500	500
合計			1,479	1,287	1,655

事業コスト	区分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度
	前年度繰越				
	当初予算	1,476	1,640	1,479	1,655
	補正予算				
	合計(A)	1,476	1,640	1,479	1,655
	一般財源				
	県債				
	国庫支出金				
	その他	1,476	1,640	1,479	1,655
	決算額(B)	1,248	1,445	1,287	
概算職員数(人)	2.50	2.50	2.50	2.50	
概算人件費	20,645	20,645	20,690	20,690	
概算事業費(B(A)+C)	21,893	22,090	21,977	22,345	

成果目標の達成状況					
項目	H26末(実績)	H27			H28目標
		目標	成果	達成状況	
危害防止運動	2回	2回	2回	達成	2回
毒物劇物事故対策研修会	1回	1回	1回	達成	—
毒物劇物事故対策研修会受講事業所数	—	—	—	—	60事業所
毒物劇物事故処理剤の備蓄	5ヶ所 6品目	5ヶ所 6品目	5ヶ所 6品目	達成	5ヶ所 6品目

目標に対する成果の状況	<p>農業危害防止運動、毒物劇物及び農業危害防止運動を農政部と協力して実施し、毒物劇物の適正な取扱い等について県民に啓発することができた。</p> <p>毒物劇物事故対策研修会を安曇野市において開催し、関係者の毒物劇物の安全管理意識を高めることができた(出席者129名)。</p> <p>上田市で開催された空気呼吸器着脱訓練に保健所等職員6名が参加し、空気呼吸器の着脱方法を習得することができた。</p>
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	引き続き危害防止運動や毒物劇物事故対策研修会等を通じ、毒物劇物による危害防止について周知することにより、毒物劇物の適正な取扱いや保管がなされ、毒物劇物による事件・事故のない長野県を目指す。 また、毒物劇物による事故発生時に安全・迅速に対応できるよう、空気呼吸器の取扱いについて習熟する。